

**重点課題**

【課題1】 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(設問2四) 示されている条件を読み取ることができていない児童 36.1%

【課題2】 文中における修飾と被修飾との関係を捉えることができる。(設問3三(2)オ) 単純に修飾語の前後の言葉を被修飾語と考える児童 41.7%

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

【課題1】・ 授業, スキル, 家庭学習などで, 文章のキーワードを見つけ, キーワードを基に小見出しを考え, さらに小見出しを使って要約文を作る学習を繰り返し行う。  
・ 正答例を示し, キーワードの見付け方や, 小見出しの作り方を個別指導する。

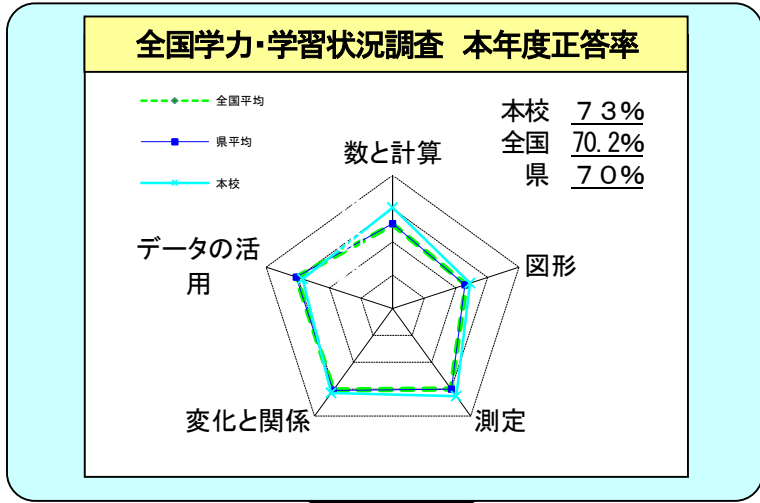
【課題2】・ スキル, 家庭学習などで, 主語・述語, 修飾・被修飾の関係を捉えるプリントを繰り返し行う。  
・ 授業で文を書くときには, 主語・述語, 修飾・被修飾を確認するようにする。

※ 小中一貫した取組については, 「読むこと」の指導に関して, 似た意見を集めて発言させ, 友だちの考えと自分の考えを比べさせたり, 関係付けたりさせる。(話し合いの工夫)

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5年 R3 全国学力		5年 R2 全国学力	4年 確認テスト(自校作成)
目標値				70%		80%	80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5年 R3 全国学力		4・5年 確認テスト(自校作成)	
目標値				70%		80%	
実施後数値							

来年度に向けて



**重点課題**

【課題1】 選択肢を見て取捨選択する力が身につけていない。選択肢と設問の数字が違えば、選択肢と設問の内容を関連づけて解くことができない。  
設問1 (3) (道のりと時間) (誤答45%)

【課題2】 2つの表を1つの表にしてまとめた表の読み方が理解できていない。  
設問3 (3) 表とグラフ (誤答50%) 表とグラフの学習が中学年中心の内容になっているので、積み重ねがなく、忘れていく児童が多い。

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

【課題1】 ・速さ、道のり、時間について数量の関係を捉え、式に表すことができる。  
・日常生活で使わない分速なども時速と同じように捉え、類似問題に取り組むことで、時速→分速に置き換えた場合を確かめるように指導する。

【課題2】 ・文章を読んで内容を把握した後、表を縦と横の2つの側面から解釈する問題に取り組む。  
・目的に応じてデータを収集し、観点を決めて分類整理し、表に書く活動を意図的に取り組ませたり、その意味を理解させたりするように指導する。

※ 小中一貫した取組については、「学びのレシピ」を活用し、見通しを持って学習させる。また、課題に対して自ら考え、他者との交流の中で論理的に説明して伝えることを意識させる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5年 R3 全国学力		4・5年 確認テスト(自校作成)	4・5年生 活用シート
目標値				70%		80%	80%
実施後数値							

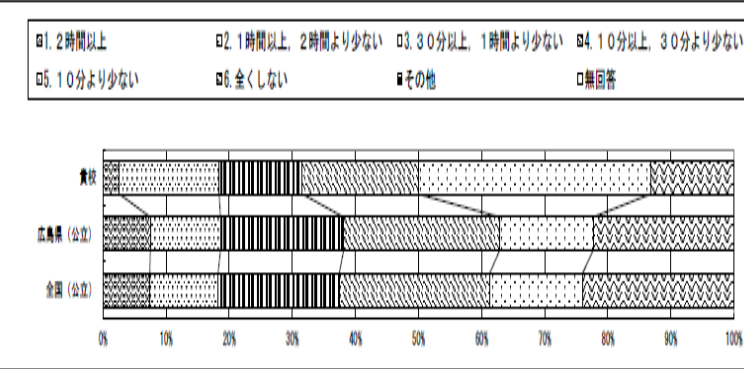
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				5年 R3 全国学力		5年 R2 全国学力	4・5年生 活用シート
目標値				70%		80%	80%
実施後数値							

来年度に向けて

質問紙調査 (全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査) (児童生徒学習意識等調査：児童質問紙調査)

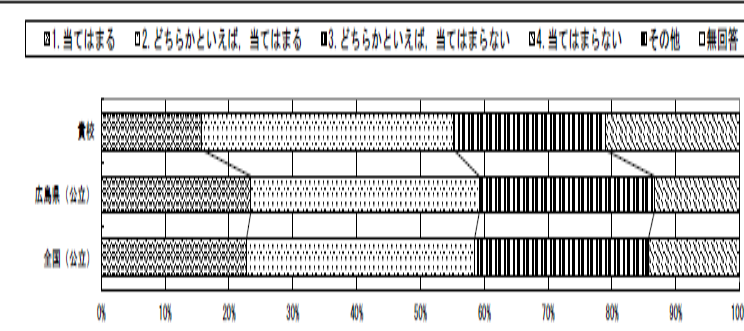
(1) 生活・学習

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。

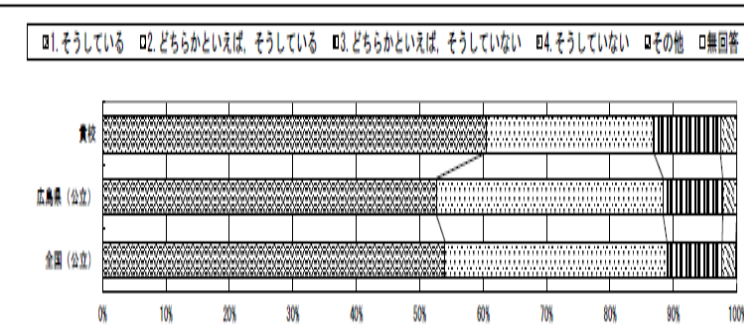


(2) 教科

国語の勉強は好きですか。



算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。



	児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「学校の授業時間以外に、平日1日当たり読書をする時間を問う項目について、30分以上と回答した児童が31.6%であり、10分未満と答えた児童は50%という結果であった。また、「新聞を読んでいる」という項目において、ほとんど、全く読んでいない児童が84.2%であった。文章を読むことに親しんだり、文章を読んで自分の思いをもったりする機会が少ない児童が多い。	学習との関連を図り、学級文庫の環境を整える。委員会やボランティアの読み聞かせ等を通して、お薦めの本を紹介したり、読書の時間を確保したりする。 月に1回配付される子ども新聞を活用し、学級で一緒に読んだり、記事を読んだ感想を書いたりする等の機会を持つ。	5	20分以上 50%	児童アンケート	12月	

	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
国語	「国語の勉強は好きですか。」の質問項目について肯定的に回答した児童は55.3%であり、県、全国より低い結果であった。学習内容は理解できているが、学んだ事柄が自分の生活にどのように役に立っているかを実感できにくい。また「書く」ことに苦手意識を感じている児童が多いことも肯定的回答が低い理由となっていると考えられる。	スキルタイムやかがやきタイム等において、条件に添って文章を書く学習を継続して行い、「書く」ことに対する苦手意識を減らしていく。	5	60%	児童アンケート	12月	
算数	「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。」の質問項目に対して、肯定的回答は86.8%であり、県、全国と比較して低い結果となった。	授業の中で、公式やきまりを学習する際に、なぜそうなるのか、ペアやグループで話し合う活動を繰り返して行い、理解させる。	5	90%	児童アンケート	12月	